



北総花の丘公園のホタル観賞会 —ホタル観賞で初夏の幻想的な世界へ—



広報レポーター

近能 善弘 (内野)

7月31日から8月5日まで千葉県立北総花の丘公園で開催された「ホタル観賞会2018」に参加しました。会場は、自然の谷津を活かしたEゾーン「自然生態園」で、ヘイケボタルのほか、多くの水生昆虫が生息しています。

自然生態園内の遊歩道



園内のヘイケボタルは、人工飼育ではなく、放流もしていないとのことで、猛暑の影響がホタルの数が例年になく減少していましたが、参加者は宝探しの様にホタルを探し、見つけては歓声を上げていました。また、コースの坂道と階段はイルミネーションライトで照らされ、夜しか咲かない華麗なカラスウリの花と都会では見られなくなってきたキツネノカミソリの花もライトアップされていました。

参加者が出発します



コースのイルミネーションライト



観賞会は、10年前から毎年2日間の日程で開催され、昨年は3,462名もの参加者があったことから、今年は6日間に延長しての開催。初日は平日にもかかわらず779人、合計4,680人の参加者が訪れたそうです。

日中の猛暑に比べ湿地の夜は暑さも幾分やわらぎ、小さな命の神秘的な淡い光と、自然の谷津の夜景も一緒に眺めることができた楽しい観賞会でした。



カラスウリと
キツネノカミソリの花

県立北総花の丘公園

場原山1-12-1 千葉ニュータウン中央駅から徒歩10分、

駐車場あり(有料)

閩北総花の丘公園管理事務所 ☎47-4030 ・ 🌐47-4032)